

中国現地法人 撤退・再編の取扱説明書

— 入り口前から出口まで、全体像をやさしく見える化 —



撤退前の常備薬



撤退は、正式決定の日から始まるわけではありません

— 兆候が出た時点で、準備は始められる —

1 赤字継続



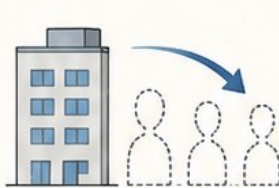
長期間、赤字が続き、改善の見通しが立たない

2 受注減



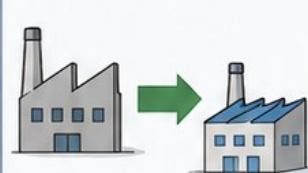
主要顧客の減少や受注の先細りが続いている

3 駐在員減少



本社からの駐在員や出張者が減ってきた

4 生産移管の話



他国・他拠点への生産移管の検討が進んでいる

5 工場売却の話



工場や設備の売却、リース物件の解約の話が出ている

6 本社が迷っている



本社の方針が決まらず、判断が先送りされている

7 現地責任者が不安



現地の経営環境や将来に不安を感じている

1 本社：
まだ正式決定ではない



2 現地総経理：
でも現場では、もう準備が必要では……？



まだ撤退と決まっていなくても、
撤退・再編の**入口前**にいる会社は少なくありません。

あなたの会社は どの型に近いですか？

— 撤退・再編の代表6タイプ —



まず自社の型番を知る

A型

事業縮小・様子見型



- 赤字・受注減
- まだ正式決定前

B型

生産移管・拠点集約型



- 他拠点へ移す
- 会社は残る場合もある

C型

工場売却型



- 土地・建物・設備の売却
- 売却不成立なら清算へ

D型

合併解消・清算型



- 合併相手との整理
- 交渉と法務が重い

E型

完全清算型



- 税務清算
- 登記抹消・外貨送金

F型

ゾンビ化・
宙ぶらりん型



- 実質停止に近い
- 会社だけ残る



複数の型が重なることも、途中で型が変わることもあります。

撤退・再編の全体像

— 入り口前から出口までの流れ —

1

入り口前



- 兆候
- 不安
- 迷い
- 情報不足

2

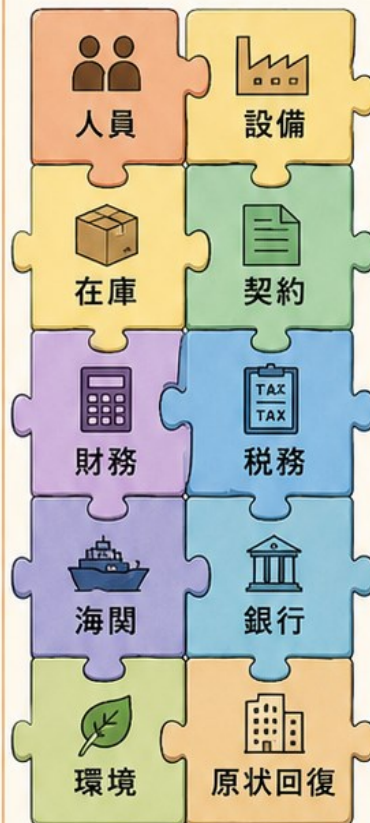
入り口



- 再編か
- 売却か
- 清算か
- 方向性整理

3

実務の山場



4

出口



- 税務清算
- 登記抹消
- 銀行口座整理
- 外貨送金
- 撤退完了

大切な
メッセージ

撤退は、現物・帳簿・証憑・説明の
整合を取りながら出口へ進む仕事です。



現物



帳簿



証憑



説明



出口へ

各ピースの役割

— 誰が何を見て、どこで力を発揮するのか —



大事なポイント

1 一人では完結しない



役割を分担し、連携することでスムーズに進められる。

2 つなぎ役が重要



関係者の橋渡し役が、全体の流れを支える。

3 現場情報が全体を左右する



正確で早い現場情報が、判断と対応の質を高める。

この冊子でわかること



各ピースの役割



全体の流れ



よくある地雷



初期対応の考え方

よくある地雷と初期対処

— 後で困ることは、たいてい先に兆候がある —

1 設備を先に動かす



危険

帳簿と現物がズれる

初期対処

写真・台帳・承認を先に整理

2 在庫を急いで処分



危険

廃棄証跡が残らない

初期対処

一覧・写真・処分証明を残す

3 労務を後回し



危険

補償・説明で混乱

初期対処

名簿と方針を早めに整理

4 過去の財務を見ない



危険

清算時に説明不能

初期対処

帳簿・発票・根拠を確認

5 資産の出入りを整理しない



危険

売却・廃棄・移設の整合崩れ

初期対処

移動記録を残す

6 税務を最後に考える



危険

損失・費用で止まる

初期対処

証憑・損失根拠を準備

7 海関・環境を見落とす



危険

保税・土壌で詰まる

初期対処

対象物と契約を確認

8 本社と現地の認識ズレ



危険

判断が遅れる

初期対処

論点を見える化



地雷は現場に埋まっている。
片付ける前に、**まず記録する。**



初期の気づきと記録が、後の手戻り・コスト・トラブルを防ぎます。
小さな兆候を見逃さず、早めに手を打ちましょう。

出口で止まらないための背骨

— 撤退の骨組みを先に知る —

1



労働契約の円満解除

人員整理・補償・説明

2



過去からの財務棚卸

帳簿・発票・債権債務の確認

3



資産の出入りの整合

設備・在庫・移設・売却・廃棄の記録

4



説明不可項目の洗い出し

後で説明できない論点を先に発見

5



税務清算

帳簿・証憑・損失根拠の整合

6



登記抹消

行政手続き・資料整合

7



銀行口座整理・外貨送金

口座閉鎖・残余財産送金

ポイント

出口で問われるのは、
「何をしたか」だけでなく、
「説明できる形で残っているか」です。



最初に確認すべきこと

— 今やること、まだやらないこと —

1 状況確認



- ☐ 赤字・受注減
- ☐ 本社方針
- ☐ 現地責任者の認識
- ☐ 売却・移管・清算の方向感

2 現場確認



- ☐ 設備の現物と台帳
- ☐ 在庫・不良品・仕掛品
- ☐ 原状回復範囲
- ☐ 環境・海関対象物
- ☐ 主要契約・発票

3 体制確認



- ☐ 誰が意思決定するか
- ☐ 弁護士・会計士との役割分担
- ☐ 銀行対応窓口
- ☐ 本社説明資料
- ☐ 今やってよいこと／まだ早いこと

1 現場：先に片付けますか？



2 案内役：待ってください。 動かす前に、記録と整合確認です。



最初の一步は、動くことではなく、**確認すること**。

撤退前の常備薬 セルフチェック

— まずは自社の状態を点検する —



チェック項目		チェック欄
1	赤字・受注減が続いている	☐
2	親会社が再編を検討している	☐
3	工場売却・生産移管の話がある	☐
4	駐在員・管理者の帰任予定がある	☐
5	設備台帳と現物の一致を確認していない	☐
6	在庫・不良品・仕掛品の処分予定がある	☐
7	労務整理の方針が未整理	☐
8	過去の財務・発票・証憑に不安がある	☐
9	海関・環境・原状回復の対象が不明	☐
10	税務清算・登記抹消・ 外貨送金の流れを把握していない	☐

あなたのチェック数

個

○ 0～2個：情報整理段階

早めに情報を整理しましょう

○ 3～5個：初期診断推奨

専門家による初期診断を
おすすめします

○ 6個以上：地雷洗い出しが必要

潜在リスクが高い状態で
早急に専門家へご相談を



詳細版チェックシートはExcelで提供可能です。➡



必要な方は専門家へ
お問い合わせください。

撤退を決める前に、 準備できることがあります

— 困ってから探すのではなく、困る前に備える —

1 無料

- 冊子配布
- 簡易セルフチェック
- 初回相談



2 初期診断

- 撤退・再編リスク初期診断
- 現場地雷チェック
- 本社説明用の論点整理



3 個別支援

- 設備・在庫・原状回復確認
- 財務・証憑・資産整合整理
- 各専門家との連携補助



1 まだ撤退ではないけど、
相談してもいいの？



2 はい。正式決定前だからこそ
整理できます。



連絡先



会社名

上海晃会企業管理有限公司



担当者

飯塚 晃



Mail

iizuka_a@hanghui-inc.com



WeChat

153-8718-0840



この冊子は、撤退を決めるための資料ではなく、
後で困らないために今のうちに確認すべきことを整理するための
取扱説明書です。

